

平成29年6月16日

平成28年の災害復旧事業費の査定結果を
お知らせします【近畿管内（2府4県）】

平成28年の災害復旧事業費の査定額は約43億円で、
過去5年で最も少ない年でした。
和歌山県が近畿管内全体の約4割を占めています。

- ★ 台風や豪雨等の自然災害により被災した河川、道路、農地、農業用施設等に係る平成28年の災害復旧事業費の査定額は約43億円で、件数は636件でした。過去10年でみると、件数は、平成20年（439件）に次いで少なく、査定額は平成20年（約27億円）、22年（約36億円）に次いで少ない年でした。なお、過去5年でみると、件数、査定額ともに最も少ない年でした。

- 府県別では ⇒ 和歌山県が約17億円と最も多く、全体の約4割を占めています。
- 原因別では ⇒ 28年9月中旬の台風16号関連の災害が約21億円と最も多く、全体の約5割を占めています。
- 施設別では ⇒ 道路が約17億円（全体の39.8%）、河川が約14億円（33.8%）、農地・農業用施設が約6億円（13.9%）の順となっています。

- ★ 財務局は、災害で被災した各施設の査定に立会官を派遣し、速やかに災害復旧事業費の予算措置を講じることによって、早期に適切な災害復旧が行われ、一日も早く被災地域の生活環境の安定が図られるように努めています。

【お問合せ先】
財務省近畿財務局 理財部主計第1課
TEL 06-6949-6364



平成29年6月16日

平成28年近畿管内（2府4県）の災害復旧事業費の査定結果をお知らせします

平成28年の災害復旧事業費の査定額は約43億円で、
過去5年で最も少ない年でした。
和歌山県が近畿管内全体の約4割を占めています。



【お問合せ先】
財務省近畿財務局 理財部主計第1課
TEL 06-6949-6364

概要

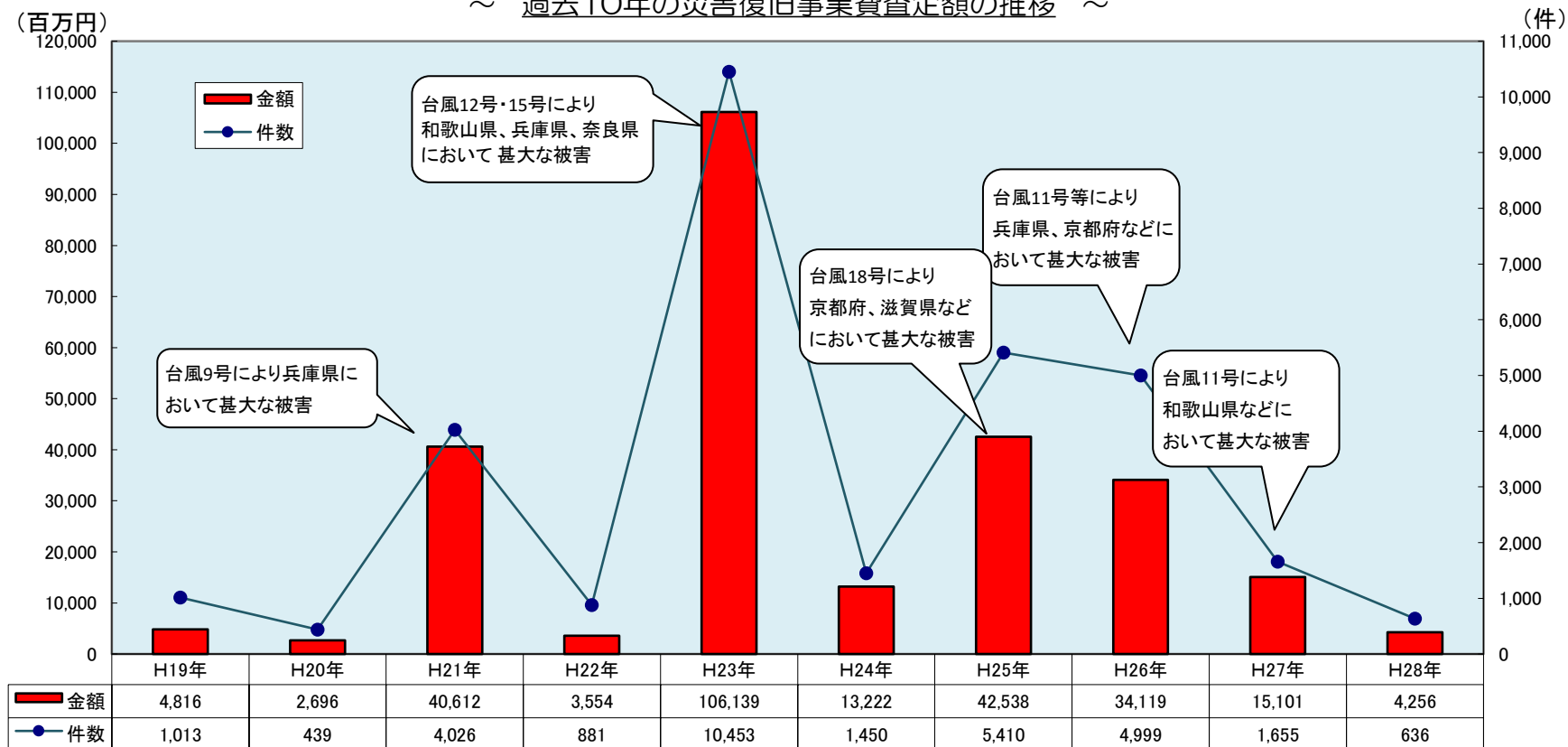
平成28年の災害復旧事業費の査定額は約43億円

台風や豪雨等の自然災害により被災した河川、道路、農地、農業用施設等に係る平成28年の災害復旧事業費の査定額は約43億円で、件数は636件でした。

過去10年でみると、件数は、平成20年に次いで少なく、査定額は平成20年、平成22年に次いで少ない年でした。

なお、過去5年でみると、件数、査定額ともに最も少ない年でした。

～ 過去10年の災害復旧事業費査定額の推移 ～



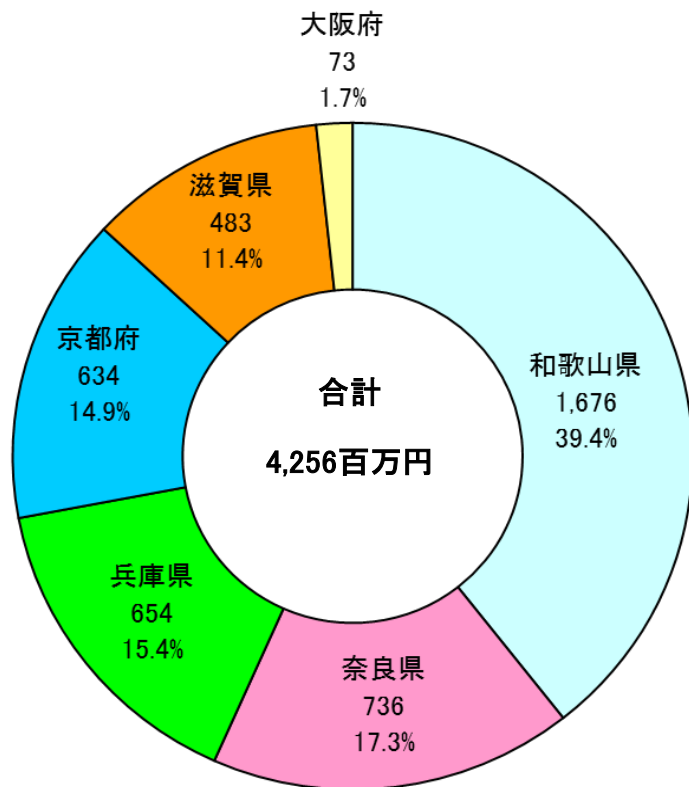
(参考) ①平成7年の阪神淡路大震災は、62,469件、11,457億円でした。
 ②平成16年は台風23号災害などにより、24,648件、1,566億円でした。

府 県 別

和歌山県が約17億円で、全体の約4割を占める。

災害復旧事業費の査定額を府県別で見ると、和歌山県が約17億円と最も多く、全体の約4割を占めています。

～ 府県別 災害復旧事業費査定額 ～



※単位未満四捨五入のため、合計と必ずしも一致しない。

参考：過去5年の府県別災害復旧事業費査定額の推移

(単位：件/百万円)

府県	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	合計	5ヶ年平均
	(件数) 金額	(件数) 金額	(件数) 金額	(件数) 金額	(件数) 金額	(件数) 金額	(件数) 金額
大阪府	(91) 386	(165) 1,026	(123) 718	(47) 278	(25) 73	(451) 2,482	(90) 496
京都府	(333) 2,679	(2,089) 13,853	(958) 9,279	(72) 1,475	(63) 634	(3,515) 27,920	(703) 5,584
兵庫県	(353) 1,328	(1,411) 8,939	(2,936) 15,066	(698) 3,314	(195) 654	(5,593) 29,301	(1,119) 5,860
奈良県	(262) 3,412	(554) 4,316	(194) 1,517	(59) 1,932	(100) 736	(1,169) 11,912	(234) 2,382
和歌山県	(308) 4,514	(604) 5,864	(729) 6,598	(752) 7,096	(233) 1,676	(2,626) 25,747	(525) 5,149
滋賀県	(103) 903	(587) 8,541	(59) 942	(27) 1,006	(20) 483	(796) 11,875	(159) 2,375
合計	(1,450) 13,222	(5,410) 42,538	(4,999) 34,119	(1,655) 15,101	(636) 4,256	(14,150) 109,237	(2,830) 21,847

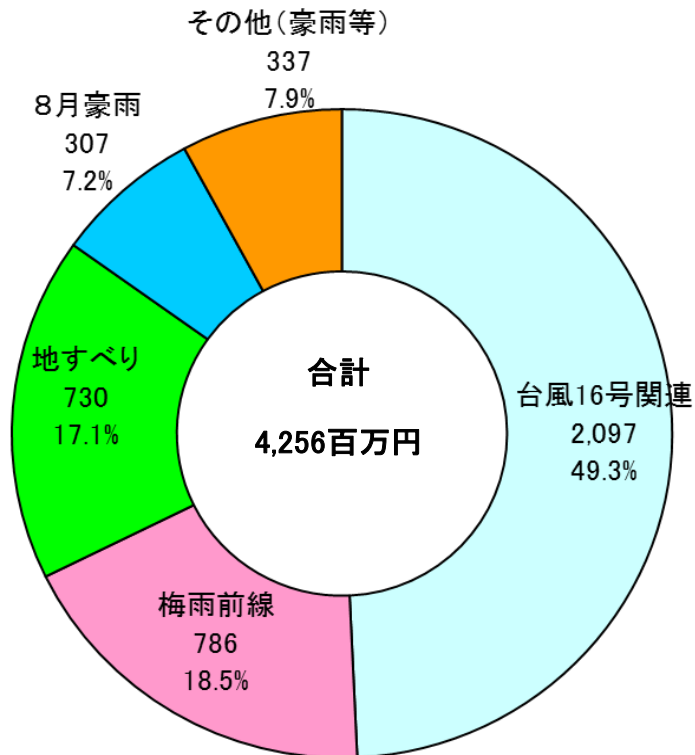
※単位未満四捨五入のため、合計と必ずしも一致しない。

被災原因別

9月の台風16号関連の災害が約21億円で、全体の約5割を占める

災害復旧事業費の査定額を被災原因別で見ると、28年9月中旬の台風16号関連の災害が約21億円で最も多く、全体の約5割を占めています。

～ 被災原因別 災害復旧事業費査定額 ～



※単位未満四捨五入のため、各被災原因計は合計と必ずしも一致しない。

参考：平成28年 被災原因別府県別の災害復旧事業費査定額内訳

(単位：件/百万円)

区分	大阪府	京都府	兵庫県	奈良県	和歌山県	滋賀県	管内計
	(件数) 金額	(件数) 金額	(件数) 金額	(件数) 金額	(件数) 金額	(件数) 金額	(件数) 金額
台風16号関連 (9/17-21)	(5) 32	(37) 311	(189) 552	(51) 431	(99) 327	(18) 444	(399) 2,097
梅雨前線豪雨 (6/4-7/18)	(2) 2	(12) 85	(0) 0	(15) 80	(95) 619	(0) 0	(124) 786
地すべり	(1) 18	(2) 136	(2) 37	(0) 0	(4) 539	(0) 0	(9) 730
8月豪雨	(13) 16	(9) 34	(0) 0	(33) 221	(14) 36	(0) 0	(69) 307
その他 (豪雨等)	(4) 5	(3) 68	(4) 64	(1) 4	(21) 155	(2) 40	(35) 337
合計	(25) 73	(63) 634	(195) 654	(100) 736	(233) 1,676	(20) 483	(636) 4,256

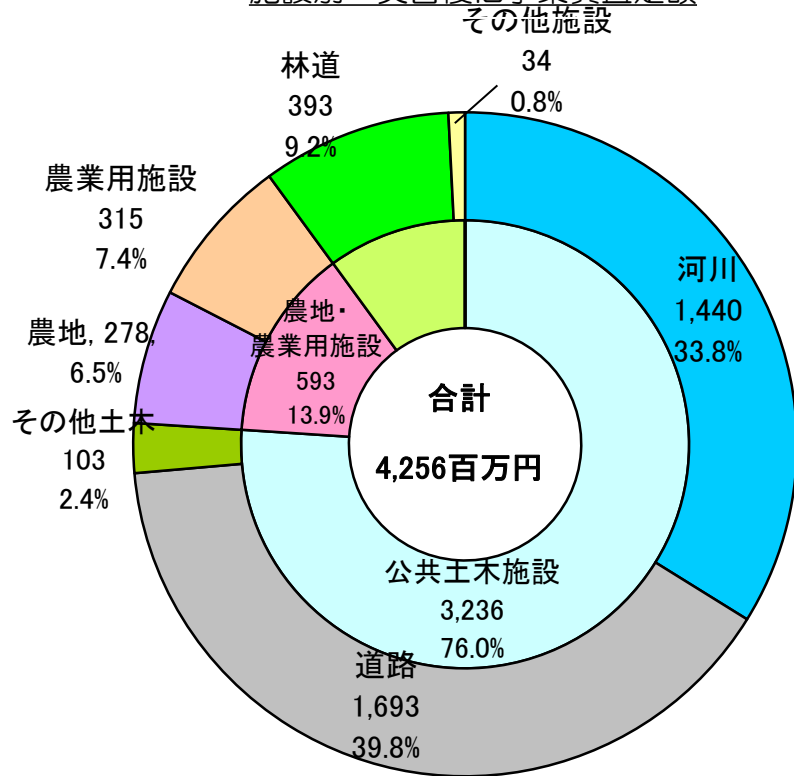
※金額は単位未満四捨五入のため、合計と必ずしも一致しない。

施設別

河川と道路の合計で約31億円で、全体の7割強を占める

災害復旧事業費の査定額を施設別でみると、道路が約17億円（全体の39.8%）、河川が約14億円（33.8%）、農地・農業用施設が約6億円（13.9%）の順となっています。

～ 施設別 災害復旧事業費査定額 ～



※単位未満四捨五入のため、各施設計は合計と必ずしも一致しない。

参考：平成28年 施設別府県別の災害復旧事業費査定額内訳

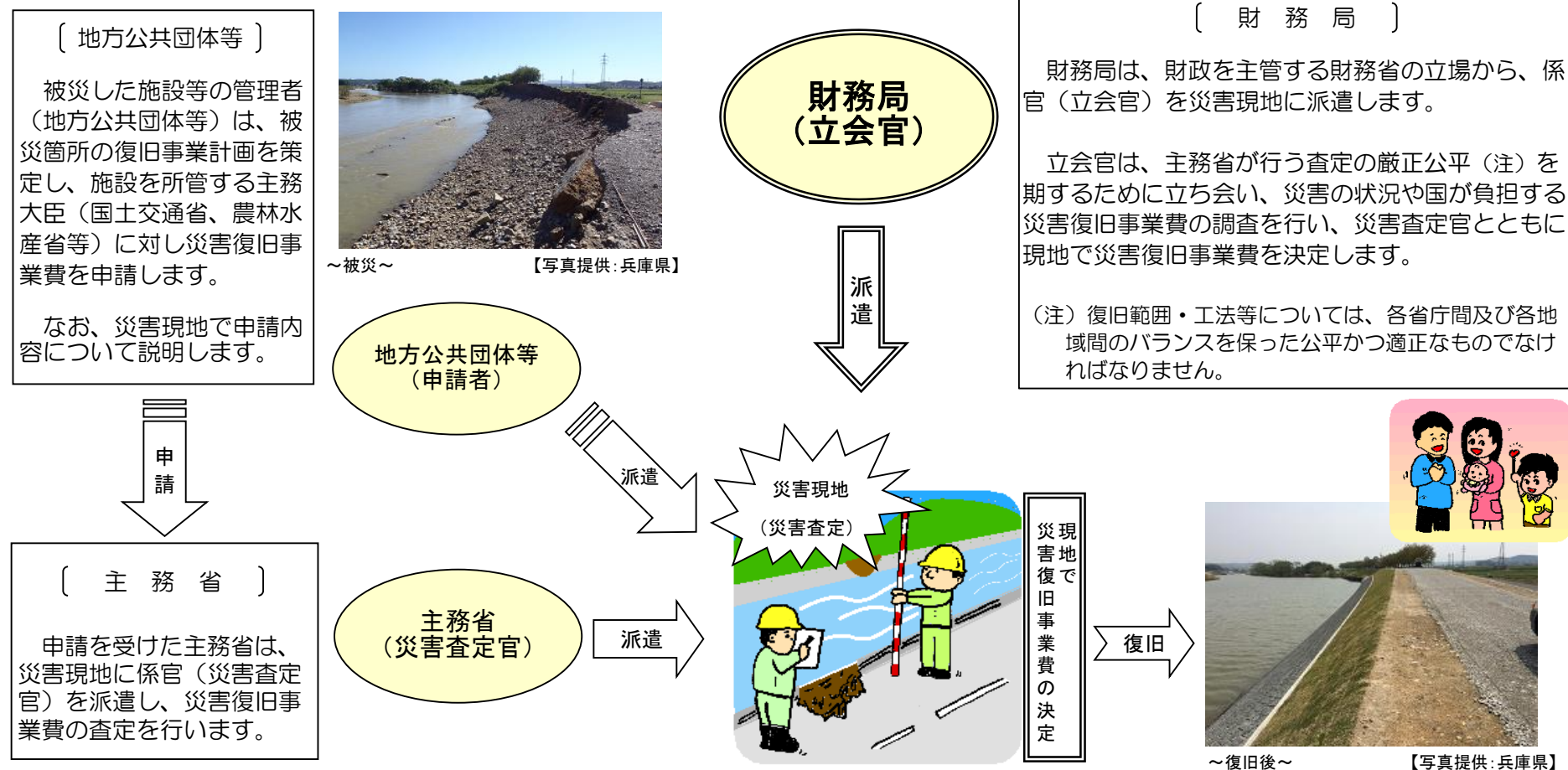
(単位：件/百万円)

区分	大阪府	京都府	兵庫県	奈良県	和歌山県	滋賀県	管内計
	(件数) 金額	(件数) 金額	(件数) 金額	(件数) 金額	(件数) 金額	(件数) 金額	(件数) 金額
公共土木施設	(2)	(50)	(39)	(74)	(112)	(16)	(293)
うち 河川	(0)	(26)	(25)	(26)	(60)	(13)	(150)
うち 道路	(2)	(22)	(13)	(48)	(52)	(2)	(139)
農地・農業用施設	(22)	(11)	(154)	(19)	(103)	(2)	(311)
その他施設 (林道を含む)	(1)	(2)	(2)	(7)	(18)	(2)	(32)
合計	(25)	(63)	(195)	(100)	(233)	(20)	(636)
	73	634	654	736	1,676	483	4,256

※金額は単位未満四捨五入のため、合計と必ずしも一致しない。

災害査定立会の概要

地震や台風、豪雨等の自然災害により道路や河川、学校等の公共的な施設や、農地・農業用施設等が被災したときは、被災した公共施設等の管理者（地方公共団体等）がその復旧を行うこととなりますが、一定の要件に該当する復旧事業については、国がその経費を負担または補助する制度があります。



財務局、主務省は、できるだけ速やかに災害復旧事業費の予算措置を講じることにより、早期に適切な災害復旧が行われ、一日も早く被災地域の生活環境の安定が図られるように努めています。